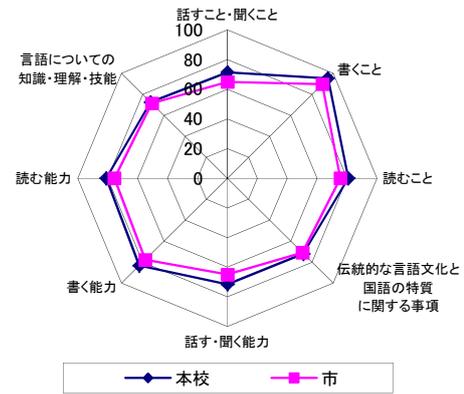


宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	71.5	64.9	69.8
	書くこと	95.1	89.8	81.9
	読むこと	81.0	75.6	75.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	72.0	71.0	75.0
観点別	話す・聞く能力	71.5	64.9	69.8
	書く能力	83.3	77.7	73.7
	読む能力	81.0	75.6	75.1
	言語についての知識・理解・技能	72.6	71.4	74.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

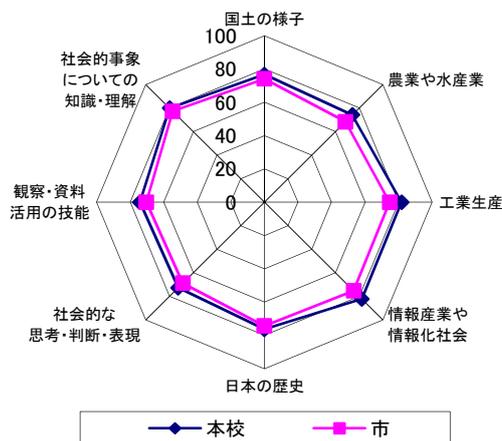
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>平均正答率は市の平均より6.6%高いが、他の領域に比べると正答率は低い。</p> <p>○話し手の意図を考えて聞くことや話合いの進行の工夫についての設問に対する正答率は、いずれも90%を超えており、おおむね定着していると言える。</p> <p>●話合いの軌道修正をする司会者の言葉を記述する設問の正答率は、市より10%以上高いものの、24.6%と全設問の中で最も低い数値を示している。</p>	<p>・話合いでの役割にあった話し方や内容を聞き取る力をつけるために、国語科での学習はもちろん、他の教科・領域等や様々な活動で、司会の役を経験する場を設定する。その際、司会のマニュアルを提示したり、進行具合のチェックをさせたりすることによって、基本的な話合いの進行の仕方を身に付けさせる。</p>
書くこと	<p>平均正答率は市の平均より5.3%高く、他の領域に比べて高い正答率を示している。</p> <p>○決められた長さで文を書くこと・2段階構成で文章を書くこと・意見と理由を区別して書くことのすべての設問において市の平均を上回っており、おおむね定着していると言える。</p> <p>●段落頭の1文字空けができていなかったり、理由を述べる文の形になっていない解答がわずかではあるが見られた。</p>	<p>・今後も力を伸ばさせるよう、様々な場面で自分の意見を表現する機会を多く設けたり、「条件に合わせて書く」活動を意図的に仕組んだりする。また、文章を書くときのきまりや内容に合わせた文の形について確認する。さらに、国語に限らず他教科・総合的な学習の時間などで、まとめ文・礼状・案内文等を書く機会を設け、相手意識や目的意識をもって分かり易い文章を書くことに慣れさせていく。</p>
読むこと	<p>平均正答率は市の平均より5.4%高い。</p> <p>○物語や説明文の読み取りも、意見文の読み比べも、全ての設問で市の正答率を上回っている。</p> <p>●物語の読み取りでは場面の描写を読み取る設問、説明文では目的や必要に応じて内容を的確に読み取る設問の正答率が他の設問に比べて低い。</p> <p>●意見文の読み比べでは、与えられた情報から適切な内容を補って書く設問の正答率が、市の平均をやや上回ったものの、47.5%と低い数値を示している。</p>	<p>・読む能力の個人差は、その一因として読書量の差が考えられる。そこで、読書を習慣化するとともに、様々なジャンルの文章に触れる機会を設ける。授業では、単元を通じた言語活動を設定し、内容を的確に読み取る必要感のある活動の展開を心がける。また、物語において、情景描写に注目させる活動を意図的に行う。さらに、国語以外の教科等でも、写真やグラフ等の資料から読み取ったことを文章化するなどの活動を行う。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>平均正答率は72.0%で市の71.0%とほぼ同様の結果と言える。</p> <p>○5・6年の漢字の読みは、市の正答率を上回った。敬語の使い方についても市の正答率を上回っている。</p> <p>●5年の漢字の書きについてはほとんどの設問で市の正答率をやや下回っている。</p> <p>●熟語の構成や主語・述語を問う設問でも、市の正答率を下回っている。</p>	<p>・過去に学習した漢字を忘れがちなので、学年の漢字の練習の他に既習学年の漢字の復習を定期的に位置付ける。また、国語の学習だけでなく生活の中で、既習の漢字を必ず使うことを習慣化するようにさせる。宿題や自主学習でも継続的に漢字の練習に取り組みせていく。主語・述語などの文法にかかわる内容は今後の学習の基礎となるので、復習し、確認させる。</p>

宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	76.7	74.1	72.5
	農業や水産業	74.2	68.4	61.6
	工業生産	81.8	74.7	68.2
	情報産業や情報化社会	82.2	75.3	74.0
	日本の歴史	76.3	74.4	69.3
観点別	社会的な思考・判断・表現	72.7	68.7	64.2
	観察・資料活用 of 技能	74.2	70.3	68.1
	社会的な事象についての知識・理解	79.9	77.3	72.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

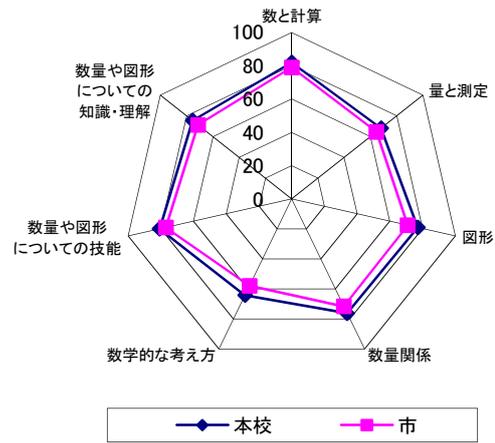
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	<p>平均正答率は、市の平均を2.6%上回っている。</p> <p>○環境を大切にする取り組みや日本の周辺の海洋名について、よく理解している。</p> <p>●気温と降水量のグラフから該当する地域を指摘する問題の正答率が低い。</p>	<p>・気温、降水量のグラフとそれぞれの地域の暮らしに関する資料(教科書や視聴覚教材)を関連付けて振り返ることで、グラフの特徴を理解できるようにする。</p>
農業や水産業	<p>平均正答率は、市の平均を5.8%上回っている。</p> <p>○米作りに適した地域の特色についてよく理解していた。また地図や資料の読み取りについてはよくできている。</p> <p>●食糧生産に関する複数の資料を読んで、状況を考察する問題の正答率が低い。</p>	<p>・複数の資料を子どもたちに提示し、それらの資料から考えられることを挙げさせ、自分の言葉で書いたり話したりして説明できるような授業を展開していく。</p>
工業生産	<p>平均正答率は、市の平均を7.1%上回っている。</p> <p>○自動車生産の工程をよく理解している。また工業地帯、工業地域の特色について、地図をもとに情報を読み取ることができる。</p>	<p>・表し方の異なるいくつかの資料を提示し、様々な読み取り方があることを理解できるようにする。また各工業地帯・工業地域の特色を視聴覚教材等を利用して理解を深められるようにする。</p>
情報産業や情報化社会	<p>平均正答率は、市の平均を6.9%上回っている。</p> <p>○情報の正しい利用の仕方や情報ネットワークの目的について、よく理解している。</p>	<p>・学級活動との関連を図り、情報モラルに関する学習を引き続き行っていく。</p>
日本の歴史	<p>平均正答率は、市の平均を1.9%上回っている。</p> <p>○どの時代においても、資料や年表の読み取りについてはよくできている。また各時代の人物のはたらきや文化についてよく理解している。</p> <p>●資料や年表で読み取ったことから考えられることについての問題の正答率が低い。また出来事や政策が与えた影響・結果についての理解が低い。</p>	<p>・資料や年表で読み取ったことから考えられることを、自分の言葉でまとめる場を設定し、友達と考えを交流させる。交流後に自分の考えを再度振り返るよう促すことで自分の考えを深められるようにする。このような授業展開を繰り返し行うことで、自分の考えをもてるようにしていく。</p> <p>・ノートに学習したことをまとめる際には、矢印などを使ってまとめるよう促し、出来事や政策の因果関係をおさえられるようにする。</p>

宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	82.0	79.0	78.9
	量と測定	68.2	64.6	66.2
	図形	77.1	70.9	77.8
	数量関係	76.2	71.6	66.6
観点別	数学的な考え方	64.2	57.8	54.8
	数量や図形についての技能	80.7	76.9	75.2
	数量や図形についての知識・理解	75.5	71.3	75.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

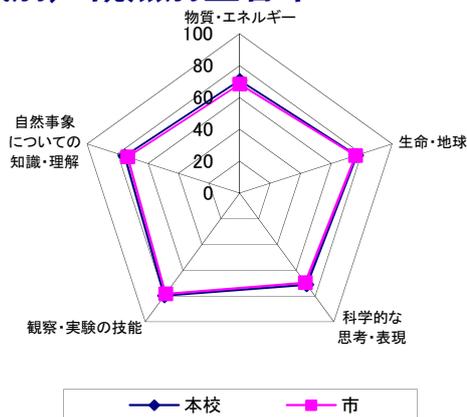
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、市の平均を3.0%上回っている。</p> <p>○分数÷分数(約分2回)の計算については、94.9%の正答率であることから十分な習熟が見られる。</p> <p>●小数第一位×小数第一位の計算については、74.6%で、市の平均を3.4%下回っている。小数点の位置が変わることを的確に押さえていない。</p>	<p>・計算力はおおむね向上しているが、少数の計算において小数点の位置を誤ってしまうことが多く見られるので、計算問題に多く取り組ませることで更に正確さを求めていく。</p> <p>・文章題の練習問題も取り入れ、正しく読み取る力を身に付けさせるようにしたり、「順序良く考える力」を養ったりすることで、学習内容の習熟を図っていく。</p>
量と測定	<p>平均正答率は、市の平均を3.6%上回っている。</p> <p>○円の直径から円の面積を求める問いの正答率は、市の平均を2.2%上回っている。</p> <p>●「単位量当たり」の大きさでは、市の平均は9.5%上回っているものの、正答率が38.1%と低い傾向をしめしている。</p>	<p>・「速さ」の学習をする際には、「単位量当たり」の問題と深く関わってくるのでその復習と、数直線や図などを用いて自分で説明する活動を増やしながら意味をとらえさせていくことで、定着を図っていく。また、文章問題で何を問われているかを正確に捉えられるようにする。</p>
図形	<p>平均正答率は、市の平均を6.2%上回っている。</p> <p>○合同な三角形を作図する問いの正答率は100%であった。定規等を使用して正確に作図する技能が高いと考える。</p> <p>●円に関係する公式を正確に理解していないために、円周を求める式を適切に選択することができていない。</p>	<p>・「円の面積」を求めるための考え方について学習する際に、「円周」を求めるための考え方との比較も取り入れ、違いを明確にしていく。その際、具体的な例を示し、それぞれについての問題を解きながら指導する。</p>
数量関係	<p>平均正答率は、市の平均を4.6%上回っている。</p> <p>○この領域の問題については全て市の平均を上回っている。特に円グラフから割合を読み取る問題では97.5%と正答率が高かった。</p>	<p>・比較量を求める学習の際には、具体物や数直線を用いて整理する活動を多く取り入れ、百分率について正確に理解できるよう指導する。また、実生活に結びつけた問題を解くことで割合の意味を定着させ、習熟を図る。</p>

宇都宮市立豊郷中央小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	70.8	68.3	68.1
	生命・地球	76.7	76.0	73.8
観点別	科学的な思考・表現	71.2	69.7	68.0
	観察・実験の技能	79.7	78.4	77.0
	自然事象についての知識・理解	75.2	73.4	73.9



※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均を2.5%上回っている。</p> <p>○「ふりこのきまり」「物の燃え方」の正答率が高く、示された実験結果をもとに、よく考察をすることができている。</p> <p>●「物のとけ方」ではメスシリンダーの扱い方、食塩とミョウバンの溶け方に関する問題の正答率が低く、「電流のはたらき」では、電流の向きを逆にしたときの電磁石の極の向きに関する問題の正答率が低かった。</p>	<p>・メスシリンダーなどの実験器具の扱い方、またリトマス紙の変化については、一人一人が器具などに十分ふれられるよう時間を確保し、実感を伴った理解ができるようにする。</p> <p>・電磁石のはたらきでは、実験の結果を再度整理し、電流の向きと電磁石の関係など、図や実験結果の表を用いて自分の言葉で説明できるように指導していく。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市の平均を0.7%上回っている。</p> <p>○「植物のつくりとはたらき」「動物のからだのつくりとはたらき」の正答率が高く、自然事象についてよく理解していた。</p> <p>●「月と太陽」では月の形の見え方についての問題や、月と太陽の位置関係についての問題で正答率が低かった。また「魚のたんじょう」ではメダカの受精に関する問題での正答率が低かった。</p>	<p>・月と太陽の位置の関係について、映像を使って説明を聞いたり、具体物を用いて説明し合ったりして理解を深められるようにする。</p> <p>・メダカの卵の成長について、写真や映像を使って振り返り、卵の成長は受精することで始まることを理解できるようにする。</p>